

## II 事務局よりのご報告とご連絡

### ◎ 大学社会連携本部からのメッセージ（連合会と関係の深い方々を毎号紹介いたします）

#### (1) 岡部 徹 副学長・社会連携本部副本部長

##### [ ご挨拶 ]

2019年4月より副学長・社会連携部副本部長（渉外・産学協創担当）を務めております。

大学には知を生み出し、知の実践を担う人材を育てる社会的使命があります。近年は、知の高度化、複雑化が急速に進んでいるため、この使命を全うするには、大学の「社会との連携」がより一層重要視され、それを担う組織の拡充が必要となってきました。

一方、わが国の研究開発費の政府負担割合は主要国の中では低く、大学においても研究費を公的資金だけでは賄うのは困難です。そこで、今後は大学が学外の企業や組織と連携して資金と人材を確保し、新しい価値を生み出していく基礎・応用研究活動を拡充する重要性がますます高まって参ります。

これまで私は、長年、レアメタルをはじめとする非鉄産業関係の企業等と様々な産学連携活動を行ってきました。また最近では、大学の部局と企業との包括的な連携研究の仕組みづくりや、若手教員の産学連携活動をプロモートするお手伝いなどにも取り組んでおります。さらに、本学の諸活動を世界規模で展開するために設置された東京大学ニューヨークオフィスの開設のお手伝いもしました。これらの経験を活かし、本学が推進する社会連携の推進に寄与できればと考えております。

私一人でできることは限られておりますが、社会連携本部の総力を結集して本学がもっとも注力しております基礎・応用研究分野での連携推進、人材育成にいさかかでも寄与できればと考えております。

そのためには、大学を取り巻く人的ネットワークを充実させ、大学が学外の人材や組織と連携して「社会に大きな貢献をする新たな仕組みづくり」が肝要です。このネットワーク構築を通じて社会連携に貢献するべく日々努力しております。

卒業生の皆様が、それぞれにもっておられる多様なネットワークは、東京大学にとってかけがえのない極めて大事な資産です。

今後とも、卒業生の皆様のご指導、ご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

##### [ 経歴 ]

- ① 出身高校：筑波大学附属高等学校(92回生)
- ② 大学卒年学部：京都大学工学部冶金学科卒業(昭和63年(1988))
- ③ 大学院：京都大学大学院工学研究科博士課程修了(平成5年(1993)) 博士(工学)
- ④ 前職：東京大学生産技術研究所 副所長(2015-2019) 専門分野は、チタンやレアアースなどのレアメタルの精錬・リサイクル技術の開発。京大→MIT→東北大→東大と、研究機関を転々としながらも、30年以上、一貫してレアメタルの研究に取り組んでいる。“プロセス技術がレアメタルをコモンメタルに変える”ことを夢見て、チタンなどの新製錬技術の開発を行っている。最近では、PGM(白金族金属)、レアアース(希土類金属)、タンタル、タングステン、レニウムなどのレアメタルの製造プロセスや新規リサイクル技術、環境技術の研究も行っている。
- ⑤ 趣味：野外活動(アウトドアライフ)、イモリの飼育



東京大学同窓会連合会ニュース「ただひとつ」 令和2年(2020年)6月号

230号 発行日:2020年5月31日